

第2章 あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進

1 保育所（園）・幼稚園

現状と課題

- 豊かな人間性をもった子どもの育成
- 職員における人権問題についての資質の向上 など

施策の方向

- 心身の発達段階に応じた保育・教育活動の推進
- 職員に対する研修の充実

2 学校

現状と課題

- あらゆる人権問題の解決に向けた態度・技能・能力の育成
- 人権教育の指導方法の問題 など

施策の方向

- 学習内容や指導方法の改善
- 効果的な教育実践や学習教材等の収集
- 子どもたちが安心して楽しく学ぶことのできる環境づくり
- 多様な体験活動の機会の充実
- 人権教育にかかわる教職員研修の計画的な推進



3 地域社会

現状と課題

- 地域の実情に応じた学習情報・機会の提供
- 住民のニーズにあったテーマ設定による人権教育・啓発の推進
- ボランティア活動など人権尊重の心を培う機会の充実
- 自主的な人権教育・啓発推進のための組織づくりや活動の促進
- 社会教育関係指導者の資質向上 など

施策の方向

- 多様な学習機会の提供及び専門性を備えた指導者の育成
- 学習意欲を高めるような内容や方法の工夫・改善
- 学校教育との連携及び多様な体験活動の機会の充実

4 家庭

現状と課題

- 家庭における教育機能の低下
- 家庭内における暴力や虐待などの人権侵害の発生 など

施策の方向

- 家庭教育に関する学習機会の充実や親への情報提供
- 保護者等への相談事業や相談体制の充実
- 学校などの他機関や地域との連携及び相談活動機能の充実
- 関係機関職員の資質の向上及び家庭の教育機能の強化支援

5 企業・職場

現状と課題

- 企業倫理を確立するための人材育成
- 出身、性別による差別、就職の機会均等の確保
- 企業や各職場内における学習環境や条件づくりの促進
- 障害のある人の自立と社会参加の促進
- 個人情報の適正な収集・利用・管理 など

施策の方向

- 役職員等を対象とした人権研修の充実
- 公正採用選考人権啓発推進員の設置促進



鹿児島県の人権の花
『ひまわり』

6 人権に関する職業従事者に対する研修等の推進

(1) 市職員等

現状と課題

- 問題解決に積極的に取り組む姿勢の確立
- 人権感覚の高い人間性豊かな職員の育成 など

施策の方向

- 同和問題をはじめとする研修会の実施
- 各種研修教材の整備及び情報の提供

(2) 教職員・社会教育関係者

現状と課題

- 教職員の人権尊重の理念に関する認識の格差
- 地域社会において個々の人権課題を合理的に判断する心構えや習慣の不足 など

施策の方向

- 各種人権研修会への参加促進による実践力や指導力の向上
- 子どもの人権問題にも対応できる教育相談に関する研修の充実
- 資質向上を図るための研修の充実

(3) 保健福祉関係者

現状と課題

- 保健福祉関係者に対する人権意識の高揚に向けた研修不足 など

施策の方向

- 保健福祉関係者及び関係団体等に対する人権研修の充実支援

(4) マスメディア関係者

現状と課題

- 誤った報道による権利侵害 など

施策の方向

- 常に人権に配慮した報道や取材活動の促進

(5) 医療関係者

現状と課題

- 患者の意思を尊重した患者本位の医療の提供
- 患者のプライバシーへの配慮など人権意識に根ざした行動・判断力の向上 など

施策の方向

- インフォームドコンセントの普及、徹底
- 人権意識向上のための関係諸団体との連携